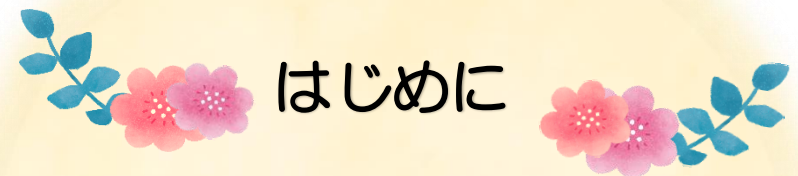


おひぎにだっこのえほん

—2・3歳向け—



相模原市の図書館

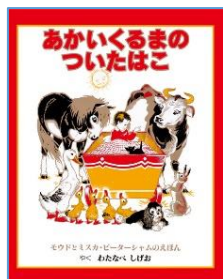


はじめに

2歳、3歳頃になると、話す言葉も日に日に増え、自分や家族だけでなく、まわりのいろいろな人や物に興味が出てきます。また、自分でやりたい気持ちが強くなり、自分でできたことに満足します。

そうした時期の子どもたちに合わせ、このリストでは、日常生活に繋がる身近な内容のものや、言葉の繰り返しやリズムが楽しいもの、簡単なおはなしの絵本を集め、五十音順に紹介しています。子どもたちは、絵本の中に自然に入り込み、いろいろな体験をすることでしょう。気に入った本は読むたびにわくわくするものです。「また同じ本」と思わずに何度でも読んであげてください。





あかいくるまの ついたはこ

モウドとミスカ・ピーターシャム／作
わたなべしげお／訳 童話館出版

庭に赤い車のついた箱が置いてありました。動物たちは次々とやってきて中を覗いていきます。その箱の中にいたのは……。

牧歌的な風景の中でくり広げられる動物と赤ちゃんの心あたたまる絵本です。



アンガスと あひる

マージョリー・フラック／作・絵 瀬田貞二／訳
福音館書店

アンガスはとても好奇心が強い犬です。ある日、生け垣の向こう側に出るとあひるがいました。アンガスは水飲み場であひるに吠えたりしました。

向う見ずなアンガスと、力を合わせたあひるの作戦は何回読んででも楽しくなります。



うさこちゃんと ゆうえんち

ディック・ブルーナ／文・絵 いしいももこ／訳
福音館書店

うさこちゃんは家族と一緒に遊園地におでかけです。ブランコやつり輪、鉄棒と、色々な遊具で遊びます。さあ、次は何をしましょう？

はっきりとした色とキャラクターが人気の「うさこちゃん」シリーズの一冊です。



うしろにいるの だあれ

のはらのなかまたち

accototo (ふくだとしお+あきこ)／著
幻冬舎

ぶたくんの後ろにいるのはひつじくん、その後ろにいるのはうしさん。うしさんの後ろにいるのはだあれ？

かわいい動物たちが次々登場。次はだれかな？ と考えながらページをめくるのが楽しくなります。

新風舎版もあります。副題は「のはらのともだち」。

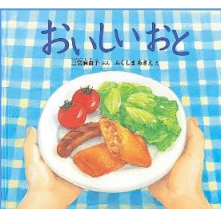


うずらちゃんのかくれんぼ

きもとももこ／作 福音館書店

うずらちゃんとひよこちゃんが、かくれんぼをしています。うずらちゃんは、自分ともようの似た花の中にかくれます。

色鮮やかな絵と、うずらちゃんとひよこちゃんの動きが魅力的です。



おいしい おと

三宮麻由子／文 ふくしまあきえ／絵 福音館書店

春巻きにほうれん草、白いご飯にかぼちゃなど、食べる時の“おいしいおと”が擬音で表現されています。繊細に描かれた絵と擬音が合わさって、料理はますますおいしそう！

お子さんと一緒に、声に出して読みたい絵本です。



おおきくなりた い こりすのもぐ

征矢清／文 夏目義一／絵 福音館書店

こりすのもぐは、初めてひとりで食べ物を探しにでかけます。木の芽やどんぐりなどを見つけて食べるたびに「おおきくなったでしょ」とうれしそう。

そんな愛らしいもぐの表情が、生き生きと描かれています。



おととと

とよたかずひこ／著 岩崎書店

お父さんに肩車をしてもらったしろくまくん。ちょっと怖いけれど楽しい、ドキドキワクワクする様子が伝わってきます。「おととと」とリズムのある言葉を通して、親子のふれあいがほのぼのと描かれています。

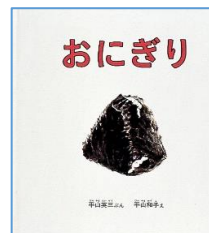


おおきなかぶ

A.トルストイ／再話 内田莉紗子／訳
佐藤忠良／画 福音館書店

おじいさんが大きなかぶをぬこうとしましたが、なかなかぬけません。そこで、おばあさんをよんできます。それでも、かぶはぬけなくて……。

「うんとこしょ どっこいしょ」のかけ声が楽しいロシアの昔話です。



おにぎり

平山英三／文 平山和子／絵 福音館書店

ご飯を炊いて、おにぎりを作ります。手のひらでぎゅっぎゅっくるっ、ほら、できました！

アツアツのご飯でおにぎりを作る様子が本物のように描かれています。湯気や温度まで感じられそうな一冊です。



おおきな のはら

ジョン・ラングスタッフ／文
フォードル・ロジャンコフスキー／絵
さくまゆみこ／訳 光村教育図書

大きな野原で動物の親子が遊びながら学んでいます。カメは穴を掘る練習をし、キツネはかけっこの練習をし、他の動物もいろいろな練習をしています。

1匹、2匹、3匹……と知らないうちに数に親しむこともできる絵本です。



おふろで ちゃぷ ちゃぷ

松谷みよ子／文 いわさきちひろ／絵 童心社

あひるちゃんが、タオルとせっけんを持ってお風呂に行きます。「まってまって」と、ほくもセーターをぬいで、パンツもぬいで……。

あたたかみのある、いわさきちひろさんの水彩画が印象的です。



おやすみなさい おつきさま

マーガレット・ワイズ・ブラウン／作
クレメント・ハード／絵 せたていじ／訳 評論社

こうさが眠る準備を始めました。だんだんと暗くなる部屋の中で、目に見えるものすべてに「おやすみなさい」とあいさつをします。

おやすみ前の子どもに、ゆっくり読みたい絵本です。



おやすみなさい コッコさん

片山健／作・絵 福音館書店

夜になってもなかなか眠らないコッコさんに、お月さまがやさしく語りかけます。

お月さまとコッコさんのくりかえしの会話が心地よく、寝る前におすすめです。



きつね と ねずみ

ピアンキ／作 内田莉莎子／訳 山田三郎／絵
福音館書店

きつねがねずみをねらっています。けれども賢いねずみは、そしらぬふりで巣穴をどんどん掘り進めます。

緊張感あふれる場面が、テンポのよいやりとりで楽しめます。



きょうりゅう きょうりゅう

バイロン・バートン／作・絵 なかがわちひろ／訳
徳間書店

大昔、地球にはいろいろな種類の恐竜がいました。角がはえていたり、しっぽにこぶがついていたり、背中にひれがあったり。

広い大地の中で恐竜が暮らす様子が、鮮やかな色で描かれています。



きんぎょが にげた

五味太郎／作 福音館書店

赤いきんぎょが、水槽から逃げ出してしまいました。きんぎょはどこへいったのでしょうか？ カーテンの中？ キャンディーのびんの中？

子どもたちが大好きな絵探し絵本です。



くまさん くまさん なに みてるの？

エリック＝カール／絵 ビル＝マーチン／文
偕成社編集部／訳 偕成社

色鮮やかな動物たちがページをめくるとに登場します。紙面いっぱいに描かれた迫力のある絵と、リズムカルなフレーズの繰り返して、目と耳で楽しめる絵本です。



くまのテディちゃん

グレタ・ヤヌス／作 ロジャー・デュボアザン／絵
湯沢朱実／訳 こぐま社

黄色いつりズボンや小さな白いエプロンなど、テディちゃんのお気に入りの物が、見開きごとに紹介されています。

自分のお気に入りの出てくる時期のお子さんに、ぴったりの絵本です。



そうくんのさんぽ

なかのひろたか／作・絵
なかのまさたか／レタリング 福音館書店

そうくんが散歩にでかけると、友だちに次々と出会います。かばくん、わにくん、そしてかめくんと順々に背中にのっていきます。次はどうなるのか気になって、最後まで目がはなせません。



サンドイッチ サンドイッチ

小西英子／作 福音館書店

表紙をめくると、おいしそうなパンがたくさん！ サンドイッチを作る様子が色鮮やかに描かれ、ページをめくるのが楽しくなります。みずみずしい食べものの絵に、子どもたちは思わず手をのばしてしまうかもしれません。



ちいさい じどうしゃ

ロイス・レンスキー／文・絵 わたなべしげお／訳
福音館書店

スモールさんご自慢の小さい自動車は、赤くてぴかぴか。そんな大切な自動車と過ごす、スモールさんの一日が描かれています。

絵と言葉がとてもシンプルで、子どもたちはお話に自然に入っています。



しろくまちゃんのほっとけーき

森比左志・わだよしおみ・わかやまけん／著
こぐま社

しろくまちゃんがホットケーキを作ります。卵を割って、材料をまぜて、フライパンで焼いていきます。

ホットケーキの焼ける様子が順番に描かれていて、いいおいができそうです。



ちいさな ねこ

石井桃子／作 横内襄／絵 福音館書店

好奇心旺盛な小さなこねこが部屋を飛び出しました。自動車にひかれそうになったり、大きな犬に追いかけられたり。

冒険するこねこに、読んでいる子どもたちはハラハラドキドキします。



ちびゴリラのちびちび

ルース・ボーンスタイン／作 いわたみみ／訳
ほるぷ出版

ジャングルに暮らすちびちびは、みんなの人気者。家族はもちろん、でっかいへびも、ライオンのおじさんも、ちびちびが大好きでした。けれど、ある時からちびちびがどんどん大きくなり始め……。

動物たちの表情豊かな絵もお楽しみください。

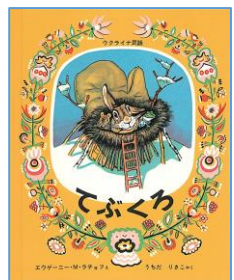


つみきでとんとん

竹下文子／文 鈴木まもる／絵 金の星社

つみきを並べて何ができるかな？ 子どもたちはベンチ、きりん、車とどんどん作っていきます。

できあがっていく様子も楽しく、リズムカルな文章は何度も声に出して読みたくなります。



てぶくろ

エウゲーニー・M・ラチョフ／絵
うちだりさこ／訳 福音館書店

雪の中におじいさんが落としていった片方のてぶくろ。そこにねずみが暮らし始めます。かえるも加わりました。次はうさぎが……。てぶくろはどうなってしまうのでしょうか？ ウクライナの民話をもとにした絵本です。

細かく書き込まれた絵はとても美しく、想像力をかきたてられます。



でんしゃ

バイロン・バートン／作・絵 こじまもる／訳
金の星社

線路の上を電車が走っています。中には、お客さんがいっぱい。電車はトンネルから出てきて、街の中を走ります。

はっきりした線と色づかいで描かれていて、小さいお子さんにもわかりやすい絵本です。



どうやって ねるのかな

やぶうちまさゆき／作 福音館書店

シマリス、コウモリ、フラミンゴ、ラッコなど様々な動物の寝ている様子がリアルなタッチで描かれています。

動物たちの意外な寝姿を見ながら、お子さんと会話が弾みそうです。



とっくん トラック もりへ ぶぶー

いわむらかずお／作・絵 ひさかたチャイルド

とっくんはたくさんの木の实を拾い、おもちゃのトラックにのせ、ぶぶーと森を歩いて行きます。切り株に木の实を並べてお店を開くと、動物たちが次々とやってきました。

とっくんと動物のかけ合いが楽しいお話です。



なにを たべてきたの？

岸田衿子／文 長野博一／絵 佼成出版社

おなかをすかせたしろぶたくん。次々に果物を食べると、おなかに果物と同じきれいな色があらわれます。最後にせっけんを食べたしろぶたくんはどうなるでしょう？

ほのほのとしたしろぶたくんの絵から、楽しい想像がふくらみそうです。



はっぱのおうち

征矢清／作 林明子／絵 福音館書店

さちが庭で遊んでいると雨がぽつんと降ってきました。はっぱの屋根のおうちに入ると、虫たちが次々にやってきます。

つかの間の雨宿りで、さちが虫たちと仲良くなっていく様子が微笑ましいです。



ねずみの いえさがし

ヘレン・ピアス／作 まつおかきょうこ／訳 児童話屋

ねずみが家を探しています。植木鉢の中、暖炉のそば、バケツの中、なかなかぴったりの家が見つかりません。そしてついに見つけた家は……。

いろいろな場所に入っては自分の家を探すねずみの様子が、写真でリアルに描かれています。



はなを くんくん

ルース・クラウド／文 マーク・シーモント／絵 きじまはじめ／訳 福音館書店

寒い冬です。雪深い森の中、眠っていた動物たちが、いっせいに目をさまし、はなをくんくんさせながらかけていきます。みんなが止まったところには……。

春を待ちこがれる季節に読みたい一冊です。



ねんねん ねこ ねこ

ながのひでこ／作・絵 アリス館

お昼寝が嫌いなこねこは、ふとんを抜け出しておうちの外へ。ボールやトンボを追いかけて行くとあら大変、水たまりに落ちてしまいます。

「ねんねん ねこ ねこ」とリズムカルな文章を楽しみましょう。



パンやの くまさん

フィービとセルビ・ウォージントン／作・絵 まさきりこ／訳 福音館書店

朝早く起きてかまどでパンを焼き、車で売りに行った後はお店番もする。そんなパンやのくまさんの日常がていねいに描かれています。

ぬいぐるみのようにくまさんの絵と、きっちりとした働きぶりが子どもたちの心をひきつけます。

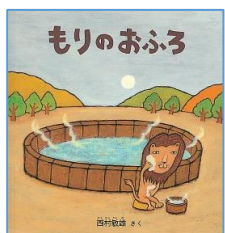


ペンギんたいそう

齋藤稔／作 福音館書店

水族館や動物園で人気者のペンギん。そのかわいらしい動きを体操に見立てた絵本です。

2匹のペンギんが「いきをすって～ はいて～」。読むと思わず一緒に体を動かしたくなります。



もりのおふろ

西村敏雄／作 福音館書店

森のお風呂に、次々と動物たちがやってきて体を洗い始めました。ライオンはゾウに、ゾウはワニに、ワニはブタに背中を洗ってもらいます。みんなで輪になって「あぶくぶくぶく ごしごし しゅっしゅ」。

テンポの良いユーモアたっぷりのお話です。



ロージーのおさんぽ

パット＝ハッチンス／作 わたなべしげお／訳 偕成社

めんどりのロージーが散歩をしています。後ろからキツネがねらっていることにロージーは気づいていません。

スリル満点！ 失敗ばかりのキツネの様子は、絵をじっくり見て、楽しんでください。



わたしと あそんで

マリー・ホール・エッツ／文・絵
よだじゅんいち／訳 福音館書店

野原で女の子が、バッタやかえるやりすに「あそびましょ」と声をかけます。でも、みんな逃げて行ってしまったので、しかたなく池のそばでじっとしていると……。

柔らかなタッチの絵と幸せな結末に、あたたかさを感じのお話です。



わたしのだいすきなどうぶつは…

フローラ・マクダネル／作 こだまともこ／訳 富山房

女の子は農場で暮らす動物たちが大好き。いぬ、あひる、ろば、ぶた、うまなどがそれぞれ見開きいっぱいに登場します。

最後のページでは動物たちも女の子が好きなんだと感じられます。生きものに興味を持つきっかけづくりに！



わたしのワンピース

にしきかやこ／絵・文 こぐま社

空から落ちてきたまっ白な布でうさぎがワンピースをぬいました。それを着て散歩にでかけると、お花や水玉など次々にワンピースの 모양が変わっていきます。

読んだあと、お子さんにどんなもようが好き？ と問いかけてみるのもいいですね。

おはなし会のご案内

図書館では 2・3 歳のお子さんに向けた「おはなし会」を開催しています。絵本や紙芝居を読むだけでなく、手遊びをしたりわらべうたを歌ったり……。一緒に楽しいひとときを過ごしてみませんか？

詳しくは各図書館にお問い合わせください。

市立図書館

うさこちゃんのおはなし会

毎月第 1・3 水曜日

①午前 10 時 30 分～ ②午前 11 時 15 分～

※2 回とも同じプログラム 会場：1 階 じゅうたんコーナー

市立図書館相武台分館

水よう日のおはなし会

毎月第 1・3 水曜日 午前 10 時 30 分～（祝日と 8 月を除く）

土よう日のおはなし会

毎月第 2・4 土曜日 午前 10 時 30 分～ 会場：集会室

相模大野図書館

おててつないでのおはなし会

毎月第 1・3 水曜日（祝日と 8 月を除く）

①午前 10 時 30 分～ ②午前 11 時～ ※2 回とも同じプログラム

サタデーおはなし会

毎月第 2・3・4 土曜日（祝日と 8 月を除く）

午後 3 時～ 会場：4 階 こどもの本のフロア おはなしの部屋

橋本図書館

たんぽぽおはなし会

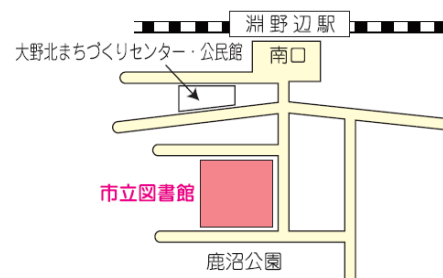
毎月第 1・3 水曜日（8 月を除く）

午前 10 時～ 会場：こどものほんのコーナー おはなしのへや

図書館案内

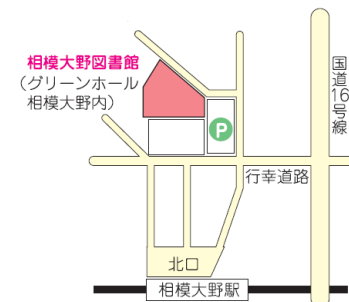
市立図書館

中央区鹿沼台 2-13-1
042-754-3604



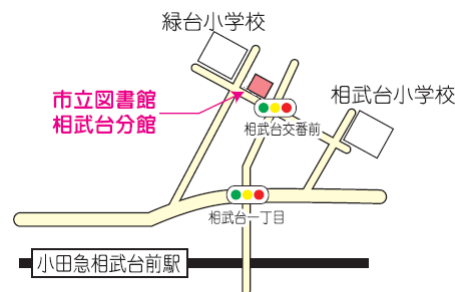
相模大野図書館

南区相模大野 4-4-1
042-749-2244



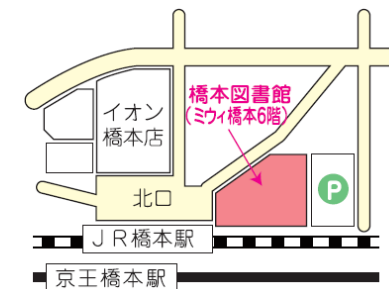
市立図書館相武台分館

南区新磯野 4-8-7
046-255-3315



橋本図書館

緑区橋本 3-28-1
042-770-6600



開館時間

火～金 午前 9 時 30 分～午後 8 時
土・日・休日 午前 9 時 30 分～午後 6 時
※相模大野図書館 4 階 こどもの本のフロアは
火～日・休日 午前 9 時 30 分～午後 6 時
※市立図書館相武台分館は
火～日・休日 午前 9 時～午後 5 時

休館日

月曜日（その日が休日の場合は翌日）
図書整理日・蔵書点検期間・年末年始
詳細については各図書館にお問い合わせください。

図書館の HP、フェイスブック、X は
こちらの QR コードからアクセスできます



相模原市の図書館
ホームページ



相模原市の図書館
Facebook



相模原市の図書館
X

図書館の HP はこちらからもご覧いただけます

<https://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp>

発行 令和 6 年 4 月

発行者 相模原市の図書館